

玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou
Vol.76
2014.9
Autumn

巻頭 理事長あいさつ

「夢」と「志」

～やってみよう！～

Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 短大・幼稚園 創立50周年記念事業
- 木造校舎 解体御祈禱式
- 学園トピックス
- 平成25年度 決算報告
- 平成26年度 予算概要
- 学園スタッフ紹介

建学の精神「感恩」

人はみな数々の恩恵を享受し 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から発する
豊かな心と情熱をもって 人の幸せを願い行動するとき
われわれは社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれ出されていく～

巻頭

理事長あいさつ

「夢」と「志」

～やってみよう！～



学校本館南側 解体した木造校舎の跡地、短大新校舎用地

「夢」と「志」は同じものだろうか

新学期が始まり、半年が経ちました。皆さんそれぞれの「夢」と「志」はどんな調子ですか。夢に近づく努力を怠り、忘れてしまっている人も少なくないかもしれません。「夢」とはなりたい自分、「志」とはその夢を叶えるための“強い気持ち”と言えます。その「夢」や「志」はどうやって創るのですか？ そんな名称の授業はありませんが、キッカケ・チャンスは自分の周りに現れるときがあります。それに気づくには、「感動」することが一番です。敬遠せず、「やってみよう！」の気持ちで挑むこと、最初の一步が大切です。



高等学校入学式(平成26年4月)「夢を叶える」

国家試験に合格 テキストを2倍にするかしないか

今春、“福科大”福祉栄養学科の学生たちは管理栄養士国家試験で過去最高の合格率 **94.3%** を達成しました。53名受験50名合格です。学生、教職員の努力に謝意、敬意を表します。試験問題の6割正答が合格要件です。“私は記憶力がよくない”と嘆く人は、人の**2倍、3倍の労力**で学べばいいのです。新品の国家試験対策テキストの厚みが**2倍**になるほど使い込めば必ず合格できます。“するか、しないか”「夢」と「志」が肝心です。ギリギリで合格しても、豊かな心があれば“いい仕事”ができます。

食堂の高校生 “この夏が勝負です！” 頑張れ！

夏休み、食堂で熱心に勉強をしている高校生がいました。聞けば3年生、彼は元気よく「この夏が勝負です。」と語ってくれました。はにかむことなく「頑張ります」と言いきる本学高校生の姿勢を、私は誇らしく思いました。しんどいときでも、周りの応援にも励まされながら、彼の「志」が萎えることなく**修学成就**して欲しい、彼の「夢」が叶うことを心から願います。

お手伝いします 善意、美しい心を行動に

ご高齢の本学卒業生が学園内で重い荷物を運んでいると、臨床心理学の女子学生3人が自ら進んで運搬を手伝いました。卒業生はこの**善意に感激**し、後日お礼のハンカチを添えて「ありがとう」の言葉を改めて学生たちに伝えてくれました。**お手伝いの気持ちが行動となる**、それが**自然に(躊躇うことなく)できる学園**であって欲しいと願います。

先日のサッカーW杯(ブラジル大会)で、日本人サポーターの観戦マナーの「良さ(美しさ)」が世界中で称賛されました。観戦後のゴミ回収という、**善意・美しい心を行動**に表せる日本人を私は素晴らしいと思います。関西福祉科学大学は日本の大学です。

本学学生の通学マナーの向上が望まれています。**学生たちに期待**をし、「子どもたちのために、**いいマナーを見せてやってほしい**」との地元の願いです。何が悪く、どう改めるべきかを学生の皆さんは分かっています。善意の行動・我慢することのスマートさ、素晴らしさに気づき、**人格を高めて**まいりましょう。これも「志」が肝要です。



「当たり前のことをしていただけなんです…」(平成26年5月)

リハ学科のゼミ発表 知識と技術、豊かな人間性、コミュニケーション力

リハビリテーション学科の1年生のゼミ発表会を参観しました。テーマは「対象者に求められる療法士とは」でした。彼らは療法士の卵です。“いい療法士になりたい”という「夢」に向けて、彼らは一生懸命に**考え、言葉を探し的確に表現し伝えようと奮闘**していました。発表では「知識と技術」、それを活かす「豊かな人間性」、そして相手に伝える「コミュニケーション力」の重要性が多く挙げられていました。どうすればそれらを効果的に修得できるのか。私たち教職員は**皆さんにその環境・機会を、工夫を凝らして提供**してまいります。皆さんはそれに飛びついてほしいと思います。失敗してもかまわない、**前を向いての失敗は成長につながります**。皆さんの一番の宝物は若さです。

学園創設時の木造校舎解体 感謝!

1943年竣工の木造校舎、約200人の女子生徒から学園の歴史が始まりました。この木造校舎は、多くの生徒たちの「青春時代の心の故郷」であり、幾多の学園困難時代も見つめてきました。その木造校舎も耐震基準に合わず、解体して跡地に短期大学の新校舎を建設することになりました。学園創設時の最後の木造校舎との訣別は万感迫るものがありますが、一層の学園発展を心に誓い、**木造校舎に謝意、敬意**を表します。“木造校舎さま、あなたが本学園の出発点です。”



学園同窓会の方を招いて、木造校舎毀(こぼち)(改新築)清祓式典を執り行いました(平成26年6月)



木造校舎上棟式(昭和17年12月)

学校法人玉手山学園 理事長・学園長 江端 源治

「経営理念とビジョン」は玉手山学園ホームページからご覧いただけます。
ぜひご確認ください。 <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/vision/index.html>



短大・幼稚園 創立50周年記念事業について

50周年記念事業実行委員会

短大及び幼稚園は、東京オリンピックが開催された翌年の1965（昭和40）年に開学し、来年には創立50周年を迎えます。予定している記念事業をご紹介します。

記念式典・祝賀会の開催

日時：平成27年10月24日（土）11:00 開始予定
場所：シェラトン都ホテル大阪

新校舎見学会

日程：平成27年11月予定

新校舎の建築（短大2号館の建て替え）

鉄骨造8階建て校舎の建築に着手しました。新校舎には、学生の学びのためのオープンスペース、ゼミ室、講義室や各学科が使用可能な各種実習室が設置される予定です。

工期：平成26年7月～平成27年7月予定
場所：木造校舎跡（学園本館と短大4号館の間）

記念誌の発行

短大、幼稚園それぞれに特色を活かした記念誌を作成します。

記念音楽CDの製作

短大生の合唱をメインに学園歌のCDを製作します。

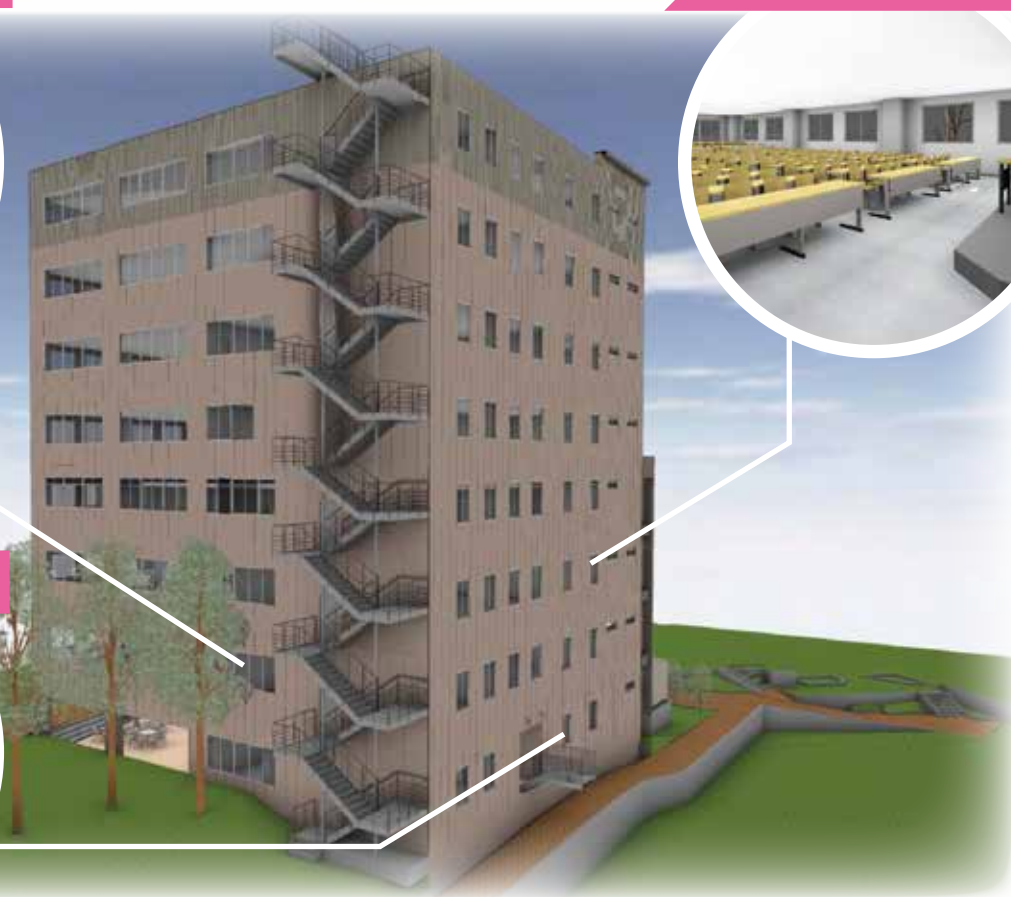
2階講義室



3階講義室



1階エントランスホール



完成イメージ

木造校舎の解体御祈禱式を挙行了しました

法人本部 施設部 田堀富造

去る平成 26 年 6 月 4 日に「木造校舎毀(改新築)清祓」の神事を開催しました。

昭和 18 年に建設された学園創設の木造校舎は、その役目を終え、短大新校舎の建設用地とするために、解体撤去されることになりました。

神事は、学園理事者、関係者と共に、高校同窓会：藤蔭会役員様、短大同窓会：勾玉さくら会役員様にも同席いただき、厳かに執り行われました。

神事終了後は、出席者全員で記念撮影を行い、校舎との思い出を語り、別れを惜しみました。



御祈禱式終了後 集合写真

その後の 6 月 9 日からは、校舎の解体工事が始まりました。

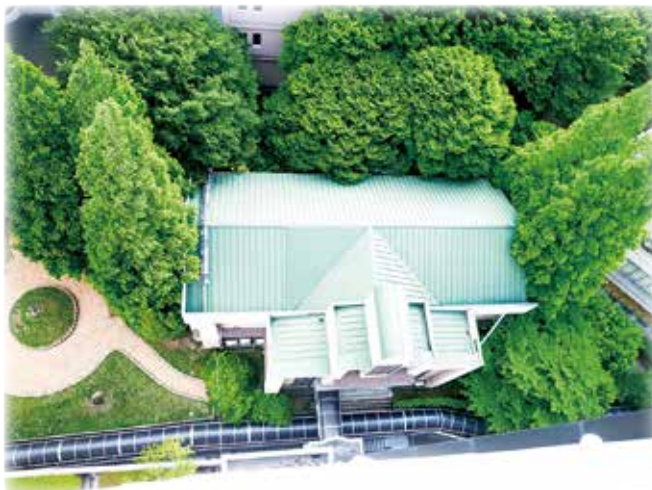
解体着手前には、校舎内の手摺の造作物、取手金物、窓枠など一部を記念品として有文館に保存しました。また、解体工事中には、最上部の屋根裏から、当時の上棟式（昭和 17 年 12 月 17 日）の棟札が出てきました。

解体工事は、6 月 28 日には完了し、7 月中旬から新校舎を建築する熊谷組に引き渡されました。新校舎の工事は、来年 7 月 31 日までの約 1 年間となります。

工事中は、騒音や車両の入出場など授業環境面、通行面でもご迷惑をお掛けすることになりますが、ご協力を宜しくお願い申し上げます。



上棟式棟札(昭和17年12月17日と記載)



木造校舎(学園本館屋上から望む)

第7回理事長杯中学生バレーボール大会

高等学校 足立匡

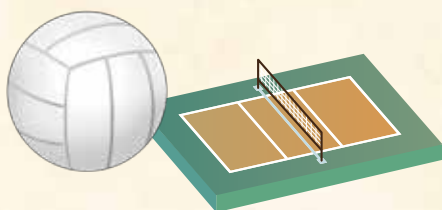
毎年恒例となった「学校法人玉手山学園理事長杯中学生バレーボール大会」も今年で7回目を迎えました。今年から石切中学校・白鷺中学校が初参加チームとして加わり、女子12校・男子9校の熱戦が2日間展開されました。

1日目の予選リーグから、決勝トーナメント進出をかけた激しい戦いが繰り広げられ、女子は堅下南中学校が、大会が開かれてから続く優勝を今年も成し遂げ、7連覇を達成しました。男子は、柏原中学校が、予選リーグで敗退した都南中学校と決勝で再び対戦し、見事勝利し優勝しました。一生懸命ボールを追いかける姿は、見ている観客に最後まで諦めない気持ちの大切さを改めて感じさせてくれました。



高等学校バレーボール部 近畿大会初出場

高等学校 上西沙季



大阪高校春季大会兼全国高校総体大阪府予選（6月1日～15日）
平成26年度 近畿高校女子バレーボール優勝大会（7月23日～25日）

全国高校総体大阪府予選において念願の近畿大会出場が決定しました。2年前に強化指定クラブとして再出発したものの、なかなか成果が出ず苦労の連続でした。この2年間で多くの新入部員を迎え、今では練習は活気にあふれ、少しずつ成果も現れています。今大会で3年越しの夢の実現は、苦労した3年生へのご褒美だと思っています。

迎えた近畿大会では、日頃の練習の成果を発揮し、「感恩」の教えを胸に元気いっぱい戦いました。残念ながら京都すばる高校（京都ベスト4）に1回戦で善戦むなしく敗退しましたが、来年度は必ず雪辱しますので、応援よろしくお願い致します。

幼稚園オープンスクール 「ようこそ！」と「おかえりなさい！」

幼稚園 大西英子



平成 26 年 7 月 12 日 (土)・9 月 7 日 (日) 園庭および保育室を開放し、恒例のオープンスクールを設けました。「未就園児の皆さん、ようこそ! 卒園生の皆さん、おかえりなさい! 今日はいっぱい楽しんで帰って下さいね。」とお迎えし、また在園児の皆さんも、家族でのご参加、ありがとうございました。子どもたちは、いつもと違う雰囲気目を輝かせていました。

園舎では、大学 福祉栄養学科のお姉さんたちが、食育を楽しみながら学べるよう、ゲームコーナーを用意してくれました。また、短大 保育科のお姉さんは、工作、お絵かき、色染めなど、日頃、家庭ではできないような体験を用意して下さい、保育室は大いに盛り上がっていました。大学、短大の皆さんのご協力に深く感謝申し上げます。

山の園庭の大型すべり台は、大人に大人気。童心に返ったお父さん、お母さんの顔がキラキラ輝いていました。

来春、入園をお考えの保護者の方には、遊戯室で幼稚園紹介もあり、頂戴した質問にもお答えすることができました。

猛暑、炎暑の中、テントでは、ソフトクリームにヤクルトなど、チャリティー企画の出店もあり、大人気。参加頂いた皆さんには、きっと楽しい一日をお過ごし下さったことと存じます。





大坂の陣400年柏原記念事業 「小松山合戦まつり」に参加



法人本部 経営企画室 早川充昭



5月3日(土・祝)、清々しい青空のもと、大坂の陣400年柏原記念事業「小松山合戦まつり」が開催されました。

この催しは、1614年の冬の陣、1615年の夏の陣から400年を迎えるに当たって、戦没者の慰霊と歴史検証を行いながら、大坂夏の陣戦跡・小松山を広く知ってもらうため企画され、「古戦場巡りハイキング」や「奉納イベント」等が行われました。

近鉄河内国分駅前で行われた「古戦場巡りハイキング」の出陣式では、本学園江端源治理事長・学園長が甲冑を着用して後藤又兵衛に扮し、伊達政宗役の中野隆司柏原市長、真田幸村役の大阪城甲冑隊の河井計実氏とともに、「エイエイオー」の勝ちどきをあげ、盛り上げました。



また玉手山公園野外劇場の「奉納イベント」では、本学高等学校の保育進学コース2年生(15名)による和太鼓演奏「夢と華」が披露され、集まった大勢の観客から盛大な拍手を受けました。



2014K's コンサートへのお誘い

法人本部 経営企画室 浦城均



柏原市の年末の恒例行事として定着し、毎年多くの来場者をお迎える「K's コンサート」は、本年で第7回目を数えることとなり、来たる12月23日（火・祝日）、柏原市民文化会館リビエールホールにて開催されます。

今回は、地元の堅下北中学校、堅下南中学校の生徒をゲストとして招待し、中学生による演奏も楽しんでいただくこと企画しております。

また、当日は例年通り附属幼稚園児による「各種入選作品展」と併せて幼稚園年長組園児による「合唱披露」を企画しておりますので、こちらも大いに楽しみにしていただきたいと思います。

玉手山学園吹奏楽団メンバーは、「音楽を通じて皆さんに笑顔と元気をもたらせられたら、そして自分たちも幸せになる」という思いを持ち、エネルギーあふれる演奏を繰り広げてきました。地域の皆様への感謝の気持ちがメンバーの演奏への情熱、原動力になっています。



心とらぐメロディを聞きながら、今年1年を振り返り来る年を想う、そんな素敵な夜を皆様と一緒に過ごせたらと思っています。どうか、沢山の皆様のご来場をお待ち致しております。



平成 25 年度 決算 報告

資金収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	3,689,232	人件費支出	2,925,377
手数料収入	84,612	教育研究経費支出	1,010,962
寄付金収入	4,392	管理経費支出	501,526
補助金収入	939,496	施設関係支出	174,051
資産運用収入	50,283	設備関係支出	167,535
事業収入	69,113	資産運用支出	741,121
雑収入	46,363	その他の支出	357,800
前受金収入	778,107	資金支出調整勘定	△179,323
その他の収入	170,032	次年度繰越支払資金	4,220,932
資金収入調整勘定	△873,294		
前年度繰越支払資金	4,961,645		
収入の部合計	9,919,981	支出の部合計	9,919,981

消費収支計算書 平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	3,689,232	人件費	2,982,004
手数料	84,612	教育研究経費	1,455,647
寄付金	9,122	管理経費	547,061
補助金	939,496	資産処分差額	30,404
資産運用収入	50,283		
事業収入	69,113		
雑収入	87,537		
帰属収入合計	4,929,395		
基本金組入額	△594,999		
消費収入の部合計	4,334,396	消費支出の部合計	5,015,116
		当年度消費支出超過額	680,720
		前年度繰越消費支出超過額	349,144
		基本金取崩額	231,978
		翌年度繰越消費支出超過額	797,886

貸借対照表 平成26年3月31日 (単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	18,701,031	固定負債	606,882
有形固定資産	12,247,315	退職給与引当金	606,882
その他の固定資産	6,453,716	流動負債	1,278,875
流動資産	4,443,990	前受金	778,107
現金預金	4,220,932	その他	500,768
その他	223,058		
		負債の部合計	1,885,757
		基本金の部	
		科目	本年度末
		第1号基本金	20,981,150
		第2号基本金	710,000
		第4号基本金	366,000
		基本金の部合計	22,057,150
		消費収支差額の部	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費支出超過額	△797,886
		消費収支差額の部合計	△797,886
		科目	本年度末
資産の部合計	23,145,021	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	23,145,021

※25年度計算書類、26年度予算書の詳細については、玉手山学園ホームページ <http://www.houjin.fuksi-kagk-u.ac.jp/> に掲出しております。

【資金収支計算書】

納付金収入は、少子化の影響及び専門学校廃止があったものの学生・生徒・園児数が前年度と比べ増加したため、前年度比231百万円、予算比42百万円増加の3,689百万円となりました。手数料収入は、前年度比1百万円、予算比8百万円減少の85百万円となりました。

寄付金収入は、「創立70周年記念事業募金」が終了したことにより、前年度比47百万円の減少、予算比では4百万円増加の4百万円となりました。

補助金収入は、国庫補助金が減少したものの、大阪府補助金が増加したことにより前年度比58百万円、予算比6百万円増加の939百万円となりました。

資産運用収入は、運用利回りの低迷が続いており、前年度比7百万円、予算比4百万円減少の778百万円となりました。

事業収入は、前年度比10百万円、予算比13百万円増加の69百万円となりました。

雑収入は、退職金財団からの交付金収入が減少し、前年度比105百万円減少、予算比では34百万円増加の46百万円となりました。

前受金収入は、学生・生徒の入学者数が予算に比べ微増であったが、奨学金支給対象者が増えたため、前年度比1百万円増加、予算比69百万円減少の778百万円となりました。

前年度繰越支払資金を除く収入合計では前年度比269百万円増加、予算比134百万円減少の4,958百万円となりました。

人件費は、前年度と比べ退職金支出が減少したこと、教職員数が減少したことにより人件費を抑えることができ、前年度比279百万円減少、予算比74百万円減少の2,925百万円となりました。

経費は、教育研究経費支出、管理経費支出合わせて前年度比148百万円増加したが、予算比では各部門における経費の節減効果が大きく教育研究経費支出、管理経費支出合計で53百万円減少の1,512百万円の支出となりました。

施設、設備関係支出については、補助金申請に係る建物附属設備、教育研究用機器備品の取得があり、前年度比176百万円増加、予算比では55百万円減少の342百万円となりました。

次年度繰越支払資金を除く支出合計では前年度比485百万円増加、予算比309百万円減少の5,699百万円となりました。

次年度繰越支払資金は前年度より741百万円減少の4,221百万円となりましたが、資産運用支出として、退職給与引当特定資産への繰入支出17百万円、減価償却引当特定資産への繰入支出149百万円、短大校舎建設引当特定資産への繰入支出355百万円、大学附属総合リハビリテーション診療所への元入金支出220百万円、合計741百万円差引後の金額です。

【消費収支計算書】

消費収入は、学生生徒納付金・手数料・寄付金・補助金・資産運用収入・事業収入・雑収入については資金収支計算書・収入の部と同じ要因で、帰属収入の合計は前年度比167百万円、予算比94百万円増加の4,929百万円となりました。

基本金組入の主だったものとして短大新校舎建設に係る第2号基本金への組入が355百万円、恒常的支払資金に係る第4号基本金への組入62百万円があり、消費収入合計は前年度比31百万円減少、予算比237百万円増加の4,334百万円となりました。

資金収支計算書・支出の部と同じ要因で、人件費は前年度比215百万円減少、予算比83百万円減少の2,982百万円となりました。経費は、前年度比125百万円増加となったが、経費節減効果により予算比67百万円減少の2,003百万円となりました。消費支出の部合計は、前年度比66百万円、予算比148百万円減少の5,015百万円となりました。

当年度消費収支差額は、収入増と経費節減効果により支出超過額が予算比385百万円減少の681百万円の支出超過となり、基本金取崩額が232百万円あり、翌年度繰越消費支出超過額は798百万円となりました。

なお、帰属収支差額は86百万円の支出超過となりました。

【貸借対照表】

固定資産は、有形固定資産において大学附属総合リハビリテーション診療所の収益事業用資産への土地・建物・構築物の振替による減少295百万円と減価償却による簿価の減少により前年度末比329百万円減少の12,247百万円となりました。

また、その他の固定資産は、退職引当特定資産が17百万円増加、減価償却引当特定資産が149百万円増加、今年度においても短大校舎建設引当特定資産355百万円を積み増したことから、診療所への収益事業元入金376百万円を計上したことにより、前年度末比896百万円増加の6,454百万円となり、固定資産合計では前年度末比567百万円増加の18,701百万円となりました。

流動資産は、現金預金の減少等により、前年度末比793百万円減少の4,444百万円となりました。

よって資産の部合計は前年度末比226百万円減少の23,145百万円となりました。

負債の部は、退職金を含む未払金の減少等により、負債の部合計は前年度末比140百万円減少の総額1,886百万円となりました。

基本金は、短大校舎建設に係る第2号基本金355百万円、恒常的支払資金に係る第4号基本金62百万円の組入れに対し、備品の過年度簿外処理分の減額等があったものの基本金全体では前年度末比363百万円の増加の22,057百万円となりました。

消費収支計算書の部で述べたように、翌年度繰越消費支出超過額は、前年度末349百万円から449百万円増加し、798百万円の翌年度繰越消費支出超過額となりました。また純資産は前年度末比86百万円減少の21,259百万円となりました。

平成 26 年度 予算 概要

資金収支予算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,980,481	人件費支出	3,071,036
手数料収入	91,573	教育研究経費支出	1,058,744
補助金収入	994,356	管理経費支出	518,254
資産運用収入	45,901	施設関係支出	694,704
事業収入	59,995	設備関係支出	136,923
雑収入	70,268	資産運用支出	656,030
前受金収入	871,284	その他の支出	181,778
その他の収入	180,462	[予備費]	20,000
資金収入調整勘定	△839,245	資金支出調整勘定	△131,255
前年度繰越支払資金	4,220,932	次年度繰越支払資金	3,469,793
収入の部合計	9,676,007	支出の部合計	9,676,007

【資金収支計算書】

平成26年度予算は、大学「保健医療学部」の完成年度であり、収入の増加が見込まれる反面、短大新校舎建築等による支出増加もあり、収支の均衡を欠く要素を含んだ予算編成となっています。

資金収入は、厳しい学生募集環境の中において、26年度は学生・生徒数の増加による学生生徒納付金収入の増加及び補助金収入の増加も見込め、資金収入の合計は、前年度比362百万円増加の5,455百万円となりました。

資金支出は、人件費をはじめ経費削減に取組みましたが、本年度は短大新校舎建築もあり、資金支出の合計は、前年度比198百万円増加の6,206百万円となりました。

その結果、資金収支差額は751百万円の支出超過となりますが、それには資産運用支出の656百万円が含まれており、次年度繰越支払資金としては、減少する予算編成となりました。

資産運用支出の内容は、退職給与引当特定資産及び減価償却引当特定資産への繰入支出271百万円、大学附属総合リハビリテーション診療所への収益事業元入金支出30百万円、短大校舎建設引当特定資産への繰入支出355百万円となっています。

消費収支予算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,980,481	人件費	3,101,606
手数料	91,573	教育研究経費	1,521,277
補助金	994,356	管理経費	562,903
資産運用収入	45,901	[予備費]	20,000
事業収入	59,995		
雑収入	70,268		
帰属収入合計	5,242,574		
基本金組入額	△1,186,627		
消費収入の部合計	4,055,947	消費支出の部合計	5,205,786
		当年度消費支出超過額	1,149,839
		前年度繰越消費支出超過額	797,886
		翌年度繰越消費支出超過額	1,947,725

【消費収支計算書】

消費収支においても資金収支と同様の要因により、帰属収入合計は前年度比407百万円増の5,243百万円となります。今年度の基本金組入は前年度同様、短大新校舎建築に伴う第2号基本金等の組入があり、前年度比448百万円増加の1,187百万円となりました。その結果、消費収入合計は前年度比41百万円減少の4,056百万円となりました。

消費支出は、人件費総額の抑制、経費の削減等により、前年度比43百万円増加の5,206百万円となりました。

その結果、帰属収支差額の収入超過額が前年度比364百万円増加の37百万円となりました。消費収支差額の支出超過額は前年度比84百万円減の1,150百万円となりました。翌年度繰越消費収支差額は、1,948百万円の支出超過となる予算編成となりました。

法人本部 財務部



学園スタッフを紹介します

1. お仕事の内容をお聞かせください。
2. お仕事を始められたきっかけを教えてください。
3. 趣味はなんですか？
4. 今後の抱負をお聞かせください。



大学 健康科学科
学科長 平田まり

1. 専門は健康管理、健康教育です。特に月経時の健康管理に焦点をあてて、若い女性への健康教育方法を研究しています。
2. 月経痛に苦しむ学生に多く出会い、月経に関連する健康管理の教育が不十分であると感じて研究を始めました。
3. 学生時代からの趣味はお寺を巡っての仏像の鑑賞です。仏像を単眼鏡で眺めてお坊さんから怒られたこともあります。
4. 歳をとって知力、体力共に余裕がなくなったことを意識しますが、短歌など新しい手習いも始めたいと思っています。



短大 歯科衛生学科
学科長 大嶋隆

1. 40年間小児歯科で子どもの歯科治療とむし歯の研究をしていました。パラチノースというむし歯予防甘味料を開発し、ウーロン茶のむし歯予防効果を明らかにしました。
2. 歯学部を卒業する半年前に、祖父江学長が教授をされていた小児歯科で、実験動物にむし歯を誘発する実験に参加する学生を探しておられ、それに手を挙げたのが始まりです。
3. 絵画収集をしたいのですが、先立つものがないため、美術館巡りを目的とする旅行を楽しんでいます。
4. ドイツのドレスデンの美術館にあるジョルジョーネの『眠れるビーナス』をいつか見に行きたいと思っています。



高等学校
教務部長 渡辺宏治

1. 地歴・公民科で日本史を担当。また、教務部長として授業や成績管理、学校行事など学校運営全般にわたる仕事をしています。
2. 幼い頃、父に連れられ薬師寺でよく写経をしました。その関係で高校時代に日本史が好きになり、研究者・教師を目指すようになりました。
3. 毎年、秋の正倉院展に行くことをライフワーク？にしています。趣味としては、古社寺の散策、仏像鑑賞などです。
4. 定年後は、奈良でボランティアガイドをしたいと思っています。今から楽しみにしています。(笑)



法人本部財務部
担当課長 西富子

1. 法人本部の財務部に所属しています。主に、学園全体の入金・支払の処理および決算業務を行っています。
2. 本学園高校に3年間通い学園生活がとても楽しかったので、当時の担任の先生に「この学園から離れるのが淋しくこの学園に残りたい」と伝えたことがきっかけで、今の法人本部財務部に勤務させていただくことになりました。それから現在までで38年になります。
3. 趣味はスポーツ観戦です。その中でも、石川遼選手（ゴルフ）がでてきてから全然知らなかったゴルフに興味をもち、息子のように応援し元気をもらっています。
4. 健康に気をつけて、定年を迎えたいと思います。定年までに部署内で業務内容を共有し丁寧に指導するよう心がけていきます。

学園広報編集委員会

委員長	山口 美和 (大学社会福祉学部)		
委員	森川 千尋 (大学事務局)	高橋 賢悟 (高等学校)	早川 充昭 (法人本部)
	山本 円香 (大学事務局)	大西 英子 (幼稚園)	大前 有希 (法人本部)
	竹本 奈津美 (大学事務局)	植田 陽 (法人本部)	

